

Let's work
and live in
Hyogo

兵庫県に U・Iターンした

5人

都市に近い島で
学んだ技術を生かして



海と山が身近な神戸で
自由な働き方を

自然が遊び場!
充実の子育て環境を



山々に抱かれた
酒造りの本場へ

オンリーワン技術の
地元企業へ



多様性こそが最大の魅力 だから見つかる! 理想の仕事と暮らし

歴史や文化の異なる5つの国が合わさって一つになった兵庫県。神戸に代表される都市部もあれば、自然豊かな農山漁村もあり、世界に誇るものづくり企業の集積地や日本有数の観光地も。多様性に富んでいるからこそ、型にはまらない理想の仕事や暮らしを見つかるはず。兵庫県で自分らしい仕事と暮らしを見つけませんか。



次のページからは、
兵庫県にU・Iターンした
5人の「今」を紹介します

兵庫県ってこんなところ

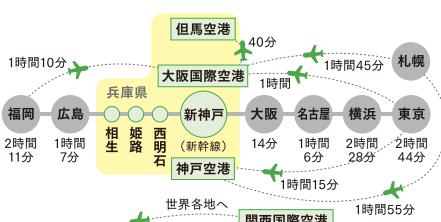
◎全国屈指の人口・経済規模

人口547万人は全国7位、製造品出荷額16兆5,067億円は全国5位です。大型放電光施設など先端産業を支援する施設が充実し、健康医療産業やものづくり分野のオンリーワン産業、全国トップシェアの地場産業など、世界的にきらりと輝く中堅・中小企業が集積しています。また、世界遺産姫路城、天空の城竹田城、有馬や城崎といった温泉街、宝塚歌劇団の大劇場など、全国的に知られる名所が点在し、観光産業を支えています。



◎陸海空の交通アクセスが充実

神戸港の開港以来、日本の玄関口として世界や国内各地との陸海空の交通アクセスが整備され、特に国内移動はとてもスムーズです。高速道路網が縦横に張り巡らされ、神戸、大阪国際（伊丹）、但馬の3空港から空路で各地とつながっています。新幹線の駅は新神戸、西明石、姫路、相生の4駅。鉄道もJRをはじめ、阪急、阪神、山陽など各線が走り、大阪や京都も通勤・通学圏内です。



◎都会と地方のいいとこ取り

三宮などを中心におしゃれな店が集積し都市部を形成する一方、すぐ背後には自然豊かな六甲山がそびえ、里山に囲まれた城下町丹波篠山や“食材の宝庫”淡路島などへもほぼ1時間圏内です。こうした都市部と農村部双方の良さを気軽に楽しめるのも、兵庫県の大きな特徴です。また、兵庫県の大学初任給は20万2,600円と東京都(22万5,000円)と大差ない一方で、家賃7万943円(東京11万5,294円)と住居費は東京より格段に安く、生活費を低く抑えることができます。さらに、兵庫県では全国に先駆けて若手社員の奨学金返済支援制度を設けており、若手社員は支援を受けることができます。

奨学金返済支援制度

県と企業が返済額の3分の1ずつを負担
導入企業数100社以上
詳細は [兵庫県奨学金返済支援制度](#) 検索



住み慣れたまちで育児と仕事を両立

加西市の(株)千石といえば、今や「アラジン」ブランドで有名なメーカー。電源を入れた瞬間に発熱管が温まる特許技術「遠赤グラファイト」を駆使したトースターの売れ行きが好調です。しかし、宮長真紗子さんは入社試験を受けるまで「地元だけ何の会社か知らなかった」と苦笑します。

加西市に生まれ育ち、高知大学へ進学。Uターンを決心したのは卒業を半年後に控えた頃でした。「全国どこへも赴任します」と答えて内定を頂いたものの、結婚して子どもができるなら、知らない土地で働き続けるのは難しいだろうと考え直しました。

入社2年目の25歳で結婚。「両親が近くにいるのは安心」と実家の敷地内に居を構え、7歳の長男、6歳の次男、2歳の長女と子宝にも恵まれました。「千石に入っていたら3人も産もうとは思わなかったかもしれません。妊娠中、体調が優れない時期には負担の軽い仕事に換えてくれるなど従業員に対して優しい会社です」としみじみ。

宮長さんが勤務する上野工場は、大手住

宅設備機器メーカーの給湯器の金属部品を製造しています。工場物流係の一員として、次々に舞い込む発注メールを確認しては製造現場にピッキングの指示を出します。「たまたま在庫がない部品の注文が入り、大急ぎで現場に作ってもらうことも。無事に出荷できた時はヨシッとなりますね」

市内には自然の遊び場が多く、病児保育施設もあるので子育てと仕事の両立がしやすいと語ります。「充実した毎日を過ごせています。やっぱり地元はいいですよ」と晴れやかな表情を浮かべます。



毎朝、数十通に及ぶ発注のメールをチェックします。



やりがいのある仕事と

最高の子育て環境

帰郷して正解でした

1

FILE
No.
U ターン

(株) 千石勤務
宮長 真紗子さん
MASAKO Miyanaga

加西市に生まれ育ち、高知市にある大学へ進む。就職活動では数社から内定をもらうも、将来の子育てと仕事の両立のしやすさを考え、2009年に郷里の(株)千石に入社。給湯器の部品を製造する上野工場で生産管理や検品などの部署を経験。膨大な数に上る部品を全て把握し、「上野のスペシャリスト」になるのが夢。

兵庫の強み

ひょうごオンライン企業
認定企業数
32 社

優れた技術や製品を有し、国内外で高い評価、シェアを得ている企業を「ひょうごオンライン企業」として認定している。宮長さんが勤務する(株)千石を含め、2016年度の創設から4年間で認定された企業は32社。

詳細は [ひょうごオンライン企業](#) 検索



2

FILE
No.

| ターン

(株)西山酒造場勤務

濱木 大輔さん

DAISUKE Hamaki

富山県高岡市生まれ。大学進学で関西へ。大学では遺伝子組み換えの研究をしていたため、食品業界を中心に就職活動。内定を得た(株)西山酒造場は、立地から最初少し迷ったが、職場の温かさに心動かされ入社を決意した。仕事では清酒のほか蒸留酒の製造も担当。蒸留酒部門の中心メンバーとして活躍している。

兵庫の強み

清酒生産量

全国1位

清酒をはじめ、地域社会と密着した地場産業の産地が県内各地で形成されている。かばん、皮革、手延べそうめん、線香、釣針などは全国トップシェアを誇り、他にもケミカルシューズや播州織、三木金物、淡路瓦などが全国的に知られている。

周囲の優しさに触れながら酒造りに没頭

小鼓ブランドで知られる(株)西山酒造場は、日本三大杜氏の一つ「丹波杜氏」の発祥の地で170年以上続く老舗の酒蔵です。清酒はもちろん、近年はブランデーやリキュールといった蒸留酒も製造。一昨年11月には、丹波ならではの素材を使用した兵庫県初のクラフトジンを発売しました。開発メンバーの一人に抜ききされたのが、当時入社して3ヵ月ほどの濱木さんです。「いつかは商品開発がしたいと思っていたので心躍りました」

ジンは、どんな材料をどんな配合で入れるかで風味や香りが違ってくるので、試行錯誤がとても面白いそうです。評判を聞きつけた有馬温泉の関係団体からジン開発の依頼も。濱木さんが中心となり開発した“有馬土産になるジン”には、有馬山椒はもちろん、播磨のユズ、但馬のワサビ、丹波のブルーベリー、淡路の鳴門オレンジを使いました。「兵庫五国の特産を全て盛り込みたかった」と笑顔を見せます。

清酒部門では蔵人の一人として米を洗い、

蒸留酒部門の作業場で。ブランデーをかき混ぜてアルコール度合いを均一化します。



蒸す作業を担当。「清酒造りは昔ながらの職人の技や勘が息づく世界。後世に引き継ぐためにも技や勘を数値化していけば」と、作業の傍らデータの収集に努めています。

本社の2階にある寮が住まい。「入社前、1泊2日のインターンシップに参加した時、職場の皆さんのが本当に温かくて。人と触れ合う社会人生活もいいなと思いました」。最近は、近くの小学校で地域の人たちと一緒にスポンジテニスを楽しんでいるとか。心優しい山里で職住近接の暮らしを満喫しています。



3

FILE
No.

| ターン

フジッコ（株）勤務

中澤 沙希さん

SAKI Nakazawa

東京都杉並区生まれ、神戸市在住。大学時代は家政学部食物学科で栄養学を学び、東京都内の病院に就職。管理栄養士として3年間働いた後、母校の大学院で2年間さらに知識を深め2018年、フジッコ（株）へ入社。コア事業本部マーケティング推進室調査グループに所属し、商品の開発・育成に携わっている。

働きやすい環境でオンとオフをうまく切り替え

神戸市に本社を構える食品メーカーのフジッコ（株）でコア事業本部に所属する中澤沙希さんは、入社3年目。大学卒業後、東京都内の病院で管理栄養士として働きますが、「もっと日常生活から食と健康をサポートできる仕事を」と考えるようになりました。大学院でさらに学びを深め、同社に入社しました。「ずっと実家暮らしで一人暮らしに憧れがあり、東京を離れることに躊躇はありませんでした」と振り返ります。

神戸市内にある自宅からポートアイランドのオフィスまでは、バスとポートライナーを乗り継ぎ約50分。「自宅のすぐそばには山がありますし、海を見ながら通勤しています。街の中でも自然を感じられるのがいいですね」

同社はワーク・ライフ・バランスの取れた働きができるのも魅力。ノー残業デーの設定や残業時間の規制のほか、昨年にはフレックスタイムも始まりました。コロナ禍でテレワークも増え、中澤さんが出社するのは週2日程度。通勤は混雑する時間帯を避け、会

社でしかできない打ち合わせや事務処理などをまとめて行い、残業はほぼゼロです。「ある程度自由な働き方ができるので、子育てと両立させながら活躍する女性もたくさんいます」

休日の楽しみは、市内のカフェやベーカリー巡り。手頃でおいしい店がたくさんあり、街を歩いても東京と比べると人の多さが気にならず快適に感じているそうです。

都会と自然のバランスが取れた居心地の良い土地で、オンとオフをうまく切り替えながら充実した日々を送っています。



同社では会議時間の短縮や効率的な進め方を見直す「スマート会議のススメ」を推進。打ち合わせも短時間で効率よく進めています。

兵庫の強み

ひょうご仕事と生活の
調和推進企業認定企業数

282社

「仕事と生活の調和」の実現に向けて取り組み、一定の成果を収めている企業や団体を「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」として認定している。中澤さんが勤務するフジッコを含め、現在認定されている企業は282社。

詳細は [ひょうご仕事と生活の調和推進企業](#) 検索



4

FILE
No.

| ターン

ミツ精機（株）勤務

田邊 空さん

SORA Tanabe

生まれ育った滋賀県長浜市の高校で、機械産業について学ぶメカトロニクスコースを選択。石川県の大学に進学し、金属加工を専門に研究。2020年に機械部品加工を手掛けるミツ精機（株）に入社後、生産技術課に配属。

兵庫の強み

淡路一神戸間の車での
所要時間

約1時間

明石海峡大橋を利用すれば、島での生活を楽しみながら買い物等には神戸へ出掛けるといった田邊さんのような生活が可能に。都市部と自然豊かな地域がほぼ1時間圏内で結ばれているのは兵庫の大きな魅力となっている。

島暮らしを楽しみながら日々の業務にまい進

航空機や医療機器などの精密機械の部品加工を主力とするミツ精機（株）。チタンなどの難削材が使われ、かつ複雑な形状が求められる航空機部品が受注製品の約9割を占める同社の加工技術は、国内トップクラスを誇ります。「航空機、医療機器部品などに使われる難削材を扱う企業というのが、就職先を選ぶ上での必須条件でした」と話す田邊空さんは、入社1年目の新入社員です。

あらゆるものづくりの基礎となる切削加工分野の魅力に引かれ、学生時代には難削材の最適な加工条件を研究。お世話に

なった教授の勧めもあり、同社への就職を決めたといいます。

現在は生産技術課に所属し、部品を固定する治具の設計や製作工程の図面化を担当。「図面を見て、現場の方から『この加工法では難しい』と意見があることも。今はデスクワークが中心で現場に出る機会は少ないので、実際に機械を触って感覚的に理解していないと失敗することもあるため、社外研修なども利用して学んでいきたいと思っています」

普段は職場から歩いて約5分の社員寮で生活。幼少期から釣りが趣味という田邊さんは、職場近くの港がイカ釣りのスポットと知って、一時期は出社前にも釣りを楽しんだそうです。また、最近購入した車は、品ぞろえ豊富な神戸市内の店舗で。「神戸へはかなりアクセスしやすく、買い物にはそちらへ出掛けることもあります」。休日には車で島内を回っておしゃれなカフェや雑貨店を見つけるなど、島での暮らしをさらに充実させています。



パソコンを使って製作工程の図面を作成。「課のリーダーに見ていただきながら、少しづつ会社のやり方を覚えていきます」



移住先に選んだ理由は

「兵庫県が好きだから」

選択に後悔はありません

5

FILE
No.

| ターン

都市部に近い自然と恵まれた子育て環境に満足

「せっかく好きで移住するのだから、兵庫県らしい仕事をしたいと思って」と県庁職員になった理由を話すのは、入庁5年目の岩永修平さん。関東で生まれ育った岩永さんが20代後半から移住を考えるようになったきっかけは、前職で神戸に赴任したことでした。

「ぎゅうぎゅうの満員電車はないですし、埼玉県人憧れの海が近くにある生活。休日にはすぐ裏の六甲山に登って反対側にある有馬温泉で疲れを癒やすといったことができて。いい所だなと思いながら暮らしていました」と振り返ります。4年後、転勤で関東に戻ると関西でのゆとりある暮らしが恋しくなり、移住先探しを開始。他県も含めて検討した結果、「やっぱり兵庫県が好きだから」と30歳の時に退職して妻子と共に兵庫県に移ってきました。

県庁で最初に配属された芸術文化課では、県内各地のアートフェスティバルをつないで魅力を発信する事業などを担当。総合農政課に異動した現在は予算管理や課

内の庶務を任せられ、働きやすい職場環境を整えるのが主な役割です。「部署によって仕事内容が全然違う分、いろいろな面から兵庫の良さを発見できるのが面白いです」

2児の父親でもある岩永さん。駐車場付きの大きな公園や無料で遊べる屋内施設が充実しているなど子育て環境の良さも気に入っている点だといいます。「将来、胸を張ってふるさと自慢ができるような子に育ってほしい」と、県産食材を選ぶようしたり、農作業や釣りなど地元ならではの体験をさせたり。週末は自然豊かな場所へ一家で出掛け、郷土愛を育んでいます。



各デスクに設置している県産杉を使ったパーテーションも岩永さんが手配。テレワーク導入、脱はんこ化など2020年度はさまざまな対応に追われたといいます。

兵庫県職員

岩永 修平さん

SHUHEI Iwanaga

都内の大学を卒業後、食品メーカーに就職。最初の配属先が神戸市内の事業所で、初めて関東以外での暮らしを経験する。2016年に8年間勤めた会社を辞めて兵庫県庁に転職し、現在は県の農林水産振興施策の企画・調整・推進等を行う総合農政課の主任。兵庫県出身の妻、2人の子どもと明石市内で暮らしている。

兵庫の強み

都市公園面積

全国2位(6,948ha)

約6,000ヵ所の都市公園が県内に整備されている。遊具が充実した身近な遊び場をはじめ、大自然の中で多彩な体験ができる里山公園、海や高原で遊べるキャンプ場など多種多様。岩永さんのように休日に家族と出掛け、一日楽しめるような施設が各地に点在している。

兵庫県で働きたいと思ったら

ひょうごで働こう！マッチングサイト

U・J・Iターン者を積極採用している県内企業・法人の求人情報を多数掲載。勤務地や業種など登録した希望条件に応じた情報からスムーズに企業探しができます。

県・市町のイベントや施策情報も掲載！

<https://www.letswork-hyogo.jp/>



●スマートフォン専用アプリも登場

移住希望エリアや希望業種・職種などを登録すると…

●登録内容に応じた求人情報などをプッシュ通知でお届けします。

App Store
(iOS)



Google Play
(android)



●東京圏の人は必見！

マッチングサイトを通じて東京圏からU・J・Iターンした人に、最大100万円の移住支援金を支給します。

※対象者の条件などはサイトで確認を [\[兵庫県 移住支援事業\] 検索](#)

ひょうご・しごと情報広場



ハローワークを併設。県内での就職を希望する人に、仕事情報はもちろん資格免許取得に関する情報の提供、各種セミナーの紹介など、仕事探しからキャリアアップまでを総合的に応援します。

開館日時=10時～19時（土曜、日曜、祝休日、年末年始休み）

神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー12階 TEL.078-360-6216

<https://www.j-hiroba.jp/>



ひょうご仕事と生活センター

全国に先駆けて設置され、専門家による無料相談やセミナーなど、県内企業のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現に向けた取り組みを応援。成果を挙げた企業・団体の認定制度や表彰制度を設け、ホームページでその事例などを紹介しています。

<https://www.hyogo-wlb.jp/>



ひょうご移住プラザ

兵庫県専門の移住相談員と就労相談員が常駐。東京に居ながら仕事のこと、住まいのこと、兵庫への移住にまつわるさまざまな相談や情報提供をワンストップで受けられます。



開館日時=火曜～日曜10時～18時（月曜、祝休日閉館）

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL.070-4000-1713

夢かなうひょうご

兵庫県での生活や仕事、U・J・Iターンをサポートするポータルサイト。移住関連のイベント情報などを発信しているほか、市町ごとの施策も掲載。カムバックひょうごセンターへのメール相談もできます。

<https://www.yume-hyogo.com/>

